

指標 4.5.1

指標名、ターゲット及びゴール

指標 4.5.1 詳細集計可能な、本リストに記載された全ての教育指数のための、パリティ指数(女性/男性、地方/都市、富の五分位数の底/トップ、またその他に、障害状況、先住民、紛争の影響を受けた者等の利用可能なデータ)

ターゲット 4.5 2030年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民及び脆弱な立場にある子供など、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。

ゴール 4 すべての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

定義及び根拠

○ 定義

本指標は、基礎指標について、あるグループの値に対する異なるグループの値の比として定義される。日本においては4.3.1を基礎指標とし、当該指標における男性の参加率に対する女性の参加率の比として定義される。

○ 概念

基礎指標と同様である。

○ 根拠及び解釈

本指標は、特定の指標に関する2つのグループの比で表現されるものであり、国連ハンドブックでは、本指標の「定義」において、パリティ指数を計算できる指標として4.3.1が例示されている。このため、当該指標を用いて算出することとする。

本指標の値が0.97~1.03の範囲から外れているほど、2つのグループ間の格差が大きいと解釈することができる。

データソース及び収集方法

基礎指標と同様である。

算出方法及びその他の方法論的考察

○ 算出方法

本指標は、基礎指標における学校教育や学校教育以外の教育に参加したと回答した25～65歳の女性の総数 a を、同じ年齢層の女性回答者の総数 b で除し、その結果に100を掛けて計算した c を分子、同指標における学校教育や学校教育以外の教育に参加したと回答した25～65歳の男性の総数 d を、同じ年齢層の男性の回答者の総数 e で除し、その結果に100を掛けて計算した f を分母として算出される。

基礎指標におけるパリティ指数 g は、以下のように計算される。

$$c = \frac{a}{b} \times 100$$

$$f = \frac{d}{e} \times 100$$

$$g = \frac{c}{f}$$

○ コメントと限界

基礎指標と同様である。

データの詳細集計

なし

参考

国際成人力調査（日本語）

http://www.nier.go.jp/04_kenkyu_annai/div03-shogai-piaac-pamph.html

国際成人力調査（英語）

<http://www.oecd.org/skills/piaac/>

データ提供府省

文部科学省

関連政策府省

文部科学省

担当国際機関

ユネスコ統計研究所（UNESCO-UIS）